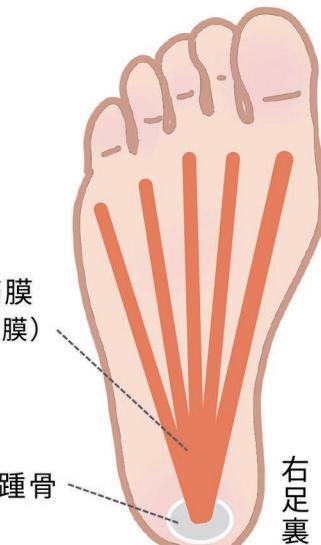


【足底筋膜炎】聞いた事ありますか？

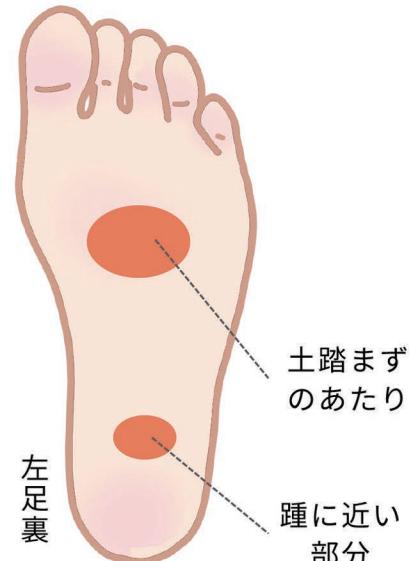
「朝起きてからの、最初の一歩が激しく痛む」「歩き始めると痛む」などの症状が特徴です。

原因 ……何度も反復する踵へのダメージの蓄積と考えられています。

図① 足底筋膜の図解



図② 痛みが出る場所の図解



足底筋膜炎になりやすい人

- ・ランナーやジャンプをするスポーツ選手
- ・過度な体重や肥満
- ・高齢者
- ・アキレス腱が短い、柔軟性がない

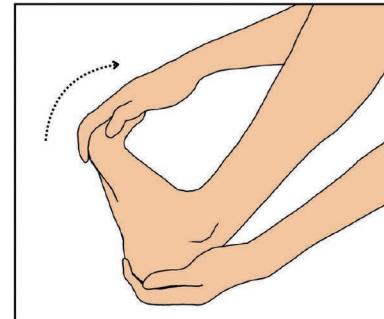
◎足底筋膜炎は自然に治る方もいますが、なかなか治りにくい場合もあります。
痛みが出たら、まずは安静にして医師の診断のもと適切な治療を行いましょう。

足底筋膜炎の改善に効果的なストレッチ

○ふくらはぎが固くなると足底にかかるストレスが増えます。

足底筋膜だけでなく、周りの筋肉や腱のストレッチも行いましょう。

①足の裏のストレッチ



足底が伸びるのを意識しながら
踵からゆっくり足底を反らせます。

10回 1セット
1日 3セット

②ふくらはぎのストレッチ



①右足を前にして前後に足を開く。
(※両足とも踵を床につける)

②右膝をゆっくり曲げて左足の
ふくらはぎを伸ばします。
(※壁を押しながら行うと、
体重が後ろ足にかかりやすいです)

反対側も行います

11月はピュアフット23周年

＼11月にご来店の方／

定期ご予約のお客様→全メニュー23%オフ！！

通常のご予約のお客様→全メニュー17%オフ！！



体幹を鍛えてみよう！

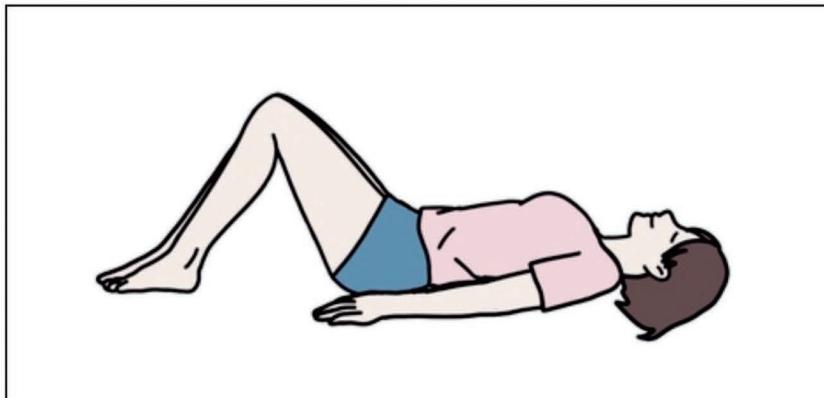
体幹を鍛えると…

- 姿勢がよくなる
- 疲れにくくなる
- バランスがよくなる
- 腰痛解消

…などの効果があり、日常生活にも多くのメリットがあります。

～体幹を鍛える方法～

◆ ドローイング (呼吸法)



仰向けに寝て膝を立てる。

- ①息を吐ききって、これ以上お腹がしほまないと感じたら、その状態をキープし、浅い呼吸を繰り返す
 - ②10~30秒キープしたらお腹を緩める
- ※①、②を2~3回繰り返す

もし、体幹トレーニングで効果が実感できない時は…

趾の弱さが原因かも！？

趾はそれぞれの体幹と繋がっています！

外反母趾	体の内側
	<ul style="list-style-type: none">・腹斜筋(わき腹にある部分の筋肉)が弱い・足の付け根に負担・内転筋(内ももの筋肉)が弱い
ハンマートウ	体の前・横側
	<ul style="list-style-type: none">・腹筋が弱い・前ももが固くなりやすい、すねが固くなる・腰周辺に負担・外ももが固くなりやすい
内反小趾	体の後ろ側
	<ul style="list-style-type: none">・背筋が固い・ハムストリングス(太ももの後ろ側の筋肉が弱い)
浮き趾	体の外側
	<ul style="list-style-type: none">・体を支える所(太ももの前側の筋肉、大殿筋) ※お尻の筋肉、腹筋群、背筋群)が弱く、外側の筋肉が固くなつて、体も固くなる

◎趾を強化することで、体幹トレーニングの効果を上げることができます！

Q. 趾ってどうやって鍛えるの？

A. ユビスラ・スラックレール
というスポーツトイがあります！

ユビスラ ¥1980

趾にはさむだけ！



乗ったりふんだりするだけ！

スラックレール ¥2200